

「お金を返します」詐欺の新手口に注意！ ～キャッシュカードを預かります～

お問い合わせ 消費生活センター
(平日) 午前9時～午後4時 ☎57-8143

消費者ホットライン
☎188 (嫌や!泣き寝入り)

県内で、詐欺の新しい手口が発生しています。これまでのように金融機関のATMで振込ませるのではなく、直接、キャッシュカードを取りに来るといふものです。その新手口について紹介します。

【手口①】

市役所職員を装って「医療費の還付金があります。還付金の振込み手続きを進めるのでキャッシュカードを預かります」と言って、実際に訪れた人がキャッシュカードを手渡しさせ、暗証番号を聞き出します。

【手口②】

警察官や金融機関の職員を装って「あなたのキャッシュカードが悪用されています。これからキャッシュカードを確実に行きませ」と言って、自宅に訪れた人が、キャッシュカードを封筒に入れ「封印をするので印鑑を持ってきてください」と指示します。印鑑を取りに戻っている間にキャッシュカードを別のカードにすり替え、「連絡するまで開けずに保管しておいてください」などと言って、キャッシュカードを盗みます。

アドバイス

- ・ 公的機関の職員が、電話でキャッシュカードの暗証番号を聞くことは絶対にありません。
- ・ キャッシュカードは大切に保管し、暗証番号は絶対に教えてはいけません。
- ・ 不審な電話には、留守番電話機能や番号表示機能を活用して対策をしましょう。
- ・ 不安に感じたり対応に困ったりしたときは、消費生活センターへ相談してください。

首都圏情報コーナー

「宝の島佐渡の魅力を知る」首都圏イベント開催

5月19日(土)、東京都品川区の大崎ブライトコアホールにおいて「宝の島佐渡の魅力を知る」と銘打ったイベントが開催され、総勢350人が参加しました。

このイベントでは、「世界遺産登録に向けた取組報告」として、世界遺産推進課の深野課長から、4回目となる推薦書を提出したこと、佐渡金銀山が江戸期、明治期を通じ、特異な鉱山開発を行った普遍的価値を訴えたこと、また、江戸期の独自の金銀生産を文化的伝統として取り上げたことなど、推薦書の概要をご紹介いただきました。

次に、佐渡首都圏の大学連携校による発表では、獨協大学外国語学部や東京学芸大学教育学部、大正大学地域創生学部、日本大学商学部の学生達がおのおののテーマで佐渡を訪れ、生活して調査した中で発見した「地域の生活と観光」、「人々の生活史の中の金銀山の価値」豊かな佐渡の観光資源の活用方法」など、学生ならではのユニークな提言や提案を発表されました。



前大田市長と大國さん(右)と辻林さん(左) 発言する大國さん(右)と辻林さん(左)

また、世界遺産・熊野古道の和歌山県世界遺産センターの辻林センター長と、石見銀山を代表して島根県太田市教育委員会の大國前委員長、三浦市長との鼎談が行われ、世界遺産に登録されても、一過性のブームではなく、佐渡の強み、弱みを理解し、20年、30年後を見据えた地道な取り組みの重要性を訴えられました。(文責：佐渡市東京事務所 小路 徹)

編集後記

いよいよ夏本番♪

海水浴や夏祭りなど、佐渡の夏を満喫できるシーズンとなってきました。

今年こそは、間に合うかゆるゆるボディを何とかして、佐渡の青い空、青い海を子どもたちと目いっぱい楽しみたいと思っています。

皆さんは、どのような楽しい夏を過ごしますか？

(T.S)

